

令和2年2月7日

P T A役員会挨拶

今日はお忙しいところP T A役員会に参加頂きありがとうございます。3年生は、1月末の私立1期入試を終え、来週後半の県立特別入試に向けて頑張っているところです。また、明日は、参観日と言うことで、ここにおられる保護者の皆様には引き続きお世話になります。

さて、来年度の教育課程に向けて、皆様に報告をいたします。

1つめは、来年度の1学期、2学期に行われていた中間テストを試験的になくします。その目的は、中間テストをなくすことで、①授業時間を12時間確保します。②中間テストは、部活動の大会の前後にあるためなくすことで、部活動の時間を確保できます。③中間テストをなくす代わりに、小学校のように単元テストを実施し、生徒たちが復習しやすくしたり、子どもたちの学力を評価するためのデータを確保します。この3つの目的のために、中間テストをなくします。(働き方改革の中、教員としては、採点や評価、部活動等の時間が増えますが、生徒たちのために頑張っていきたいと考えていますので、ご理解と協力をお願いします。)

2つめは、ボランティアを活発にするために「ボランティアカード」のようなものを活用し、生徒に地域でのボランティア活動への参加を活性化させます。近年、近隣の高校では、ボランティア活動への参加が、評価され加点される学校が増えています。もちろんなんでもいいわけではありませんが、生徒たちが企画運営したり、地域の人たちと一緒に取り組むボランティアは、高く評価されています。ご家庭でも、ボランティアへの参加をしっかりと呼びかけていただけたらと思います。

3つめは、教育課程とは別の話ですが、本年度は、様々な学校行事や地域との活動を新聞や、テレビで取り上げていただきました。その中でも、2月5日に県庁で「鍵かけコンテスト」の表彰がありました。参加校は県内で29校でしたが、その代表として伊里中学校の生徒会長の延兼くんが謝辞を発表しました。生徒たちの行いが、様々なところで評価されているというのは、とても誇らしいことだと思います。あわせて、保護者の皆様のご理解と協力に感謝しています。

以上のことを報告し、来年度も今年に負けぬよう学校、知識を織り上げていきたいと考えておりますので、協力、応援をお願いいたします。